


領収書内訳書

申請者氏名 様

平成 30 年 5 月 20 日付領収書の内訳等については、以下のとおりです。

1 販売事業者 (領収書発行者)

会社名 代表者役職・氏名	太陽熱産業株式会社 代表取締役社長 太陽 熱男	代表者印	
住 所	〒***** 静岡県葵区黒金町**-* **ビル*F		
担当者所属・氏名	太陽 熱治		
電話番号	***-***-****	FAX 番号	***-***-****

2 工事完了日

工事完了日 (注 1)	平成 30 年 5 月 10 日
-------------	------------------

(注 1) 平成 30 年 4 月 1 日以降の場合が補助対象となる。完了日は実際に工事が完了した日とする (支払完了日や竣工検査実施日ではない)。

3 内訳書

補助対象経費{(A)+(B)+(C)} = (568,000) 円 ← <合計>
 (補助金額は、補助対象経費の合計額×1/10 (千円未満は切り捨て) 又は 10 万円のいずれか小さい額)

項目	金額 (注 2)	備考 (注 3)
1. 強制循環型太陽熱利用設備		
本体機器 (集熱器・蓄熱槽)	(A) 341,800 円	
付帯機器 (注 1)	(B) 116,200 円	
据付工事費 (補助熱源までの配管含む)	(C) 110,000 円	
2. 補助熱源装置		
機器費	200,000 円	
据付工事費	100,000 円	
3. その他の経費		
屋根補修費	300,000 円	
その他 ()	132,000 円	
小 計	1,300,000 円	
消費税	104,000 円	
合 計 (注 4)	1,404,000 円	

(注 1) 付帯機器は、強制循環型太陽熱利用設備に係る架台、湯水混合ユニット、給湯加圧ポンプ、三方弁、減圧弁などを指す。

(注 2) 該当のない項目は金額を記入する必要はない。

(注 3) 他の項目と一括の金額の場合は備考欄にその旨を記入すること。

(注 4) 領収書の合計金額と合致していることを確認すること。